

証券市場新聞

1 第187号

日経平均株価

2万1685円90銭

▲42円37銭(前日比)

TOPIX

1576.31

▼2.32(前日比)

2019
7/15
月曜日

発行元 株式会社 証券市場新聞社

〒542-0081 大阪市中央区南船場3-7-27 NLC心斎橋ビル6C

TEL 06-6105-1904 FAX 06-7635-7861

marketpress.jp



海外旅行関連に商機到来

令和初の夏休みは連休つづく

令和初の夏休みに突入することから消費に関連して旅行に絡むセクターが話題になりそう。今年8月に「山の日」を含む10日と12日に3連休があり、13日と16日にお盆休みを入れると9連休。さらに9月も2回の3連休がある。4月からは働き方改革関連法が施行され、年5日の年次有給休暇取得が義務化されたこともあり、連続休暇が取得しやすい環境が拡がっており、日帰りや一泊二日の短期より長期旅行のニーズも増える可能性があるという。

長期休暇取りやすい環境

JTBが発表した(7月15日～8月2019年夏休み(31日)の旅行動向



今年の夏は海外旅行のニーズが高い

によると国内旅行者数は前年比0.2%減の7435万人と減少するものの、海外旅行者数は同3.5%増の299万人と増加が予想されている。所得やボーナスが増え、長期休暇が取り

る若い世代の旅行意欲は高く、5月下旬以降、円高傾向が強まっていることも海外旅行需要を喚起する要因になっている。これに加えて燃油サーチャージは昨年と同額ながら、発券ベイスで値上げの予定があることも前倒しで旅行決断させる理由になっているようだ。旅行の大手では国内向けの比重が高いKNT-CTホール

ディングス(9726)よりは高単価の欧州が伸びているエイチ・アイ・エス(9603)に海外旅行者増の恩恵がありそうだが、航空券予約サイト「エアトリ」を運営し、18年5月にDeNAトラベ

日経平均日足チャート



ルを買収したエポラブルアジア(6191)は海外旅行意欲が強い若者からの利用が増えそう。これに加えて、海外旅行に欠かせないのが通信環境などのアイテムで、海外渡航者向けにWiFiフィルターレンタルが伸びているビジョン(9416)や自動通訳機「ポケットク」がヒットしているソースネクスト(4344)も見逃せない。

今週の動意銘柄

SAMURAIストップ高 大手アミューズメントと契約

8日、SAMURAI & J PART NERS (476) がストップ高。日本国内の大手アミューズメント企業と資金調達支援を目的としたアドバイザリー契約を締結すると発表した。計画期間は5年間で、当面、約1億5000万円を売

SAMURAIの日足チャート



上計上する予定で、19年12月期業績予想は確定次第、速やかに開示するとしている。

霞ヶ関3Q赤字転落

8日、霞ヶ関キャピタル(3498)が急反落。19年8月期第3四半期累計の単独決算は、売上高16億3200万円(前年同期比41・

0%減)、営業損益2億900万円の赤字(前年同期3億300万円の黒字)と大幅減益で赤字に転落したことが嫌気された。不動産コンサルディングと太陽光発電施設が大幅減収減益となり、既存設備の改修によりショッピンングセンター事業が赤字になったことが響いた。

公開価格の2.4倍

150円の2.4倍となる2760円で初値をつけた。データフィード、デジタル広告、ソーシヤルメディアマーケティング関連事業を行う。

8日、前週末に東証マザーズに新規上場したフィードフォース(7068)が公開価格1

電子部品関連売られる

9日、東京エレクトロン(8035)や村田製作所(6981)、太陽誘電(6976)、キーエンス(686

9日、日宣(6543)はストップ高で年初来高値を更新。朝日放送グループホールディングス(9405)、NTT西日本、朝日新聞社、電通(4324)と共同で、ピクセロット(イスラエル)のAI

日宣AI映像配信実験

9日、技研製作所(6289)が急落。

19年8月期第3四半期累計の連結決算は、営業利益31億7400万円(前年同期比3・2%減)

6か月以上たった。6か月以上の二重払いが16年4月から18年12月までに約2万2000件あったが、件数はさらに増える見込み。金融庁は事態を重くみて、業務改善命令など処分を検討しているようだ。

1)など電子部品関連が売られた。米株市場でアップル株がiPhoneの不振を理由による投資判断引き下げから下落した流れを引き継いだ。android端末はミドルレンジと言われる低価格端末が人

カメラを活用したスポーツ映像配信事業に関する共同実証実験を開始すると発表したことが買い手掛かりになった。

から赤字に陥っており、通期計画の大幅な下振れが懸念された。

10日、かんぽ生命保険(7181)が続落。新旧契約の保険料を故意に二重払いさせていた問題が伝わ

12日の東京市場は小動きでした。NYダウが最高値を更新し、為替が円安に振れたことで、買い先行で始まりましたが、一時マイナスに転じる場面もありました。NY市場に比べ東京市場の上値の重さが意識算に伴う売の不安はあ

正直いいさんの株で大判小判

12日の東京市場は小動きでした。NYダウが最高値を更新し、為替が円安に振れたことで、買い先行で始まりましたが、一時マイナスに転じる場面もありました。NY市場に比べ東京市場の上値の重さが意識算に伴う売の不安はあ



花咲翁

竹内製作所が急落

1Q19%営業減益を嫌気

10日、竹内製作所(6432)が急落。20年2月期の第1四半期の決算を発表。連結営業利益で38億8600万円(前年同期比18.9%減)と2ケタ減益となったことが嫌気された。拡販に向けて政策的な販売価格を設定したこと、製造原価が上昇したことが利益を圧迫している。

ユニゾはHIS買増し

10日、ユニゾホールディングス(3258)がストップ高。エイチ・アイ・エス(9603)が株式を買い増す方向で検討していることが伝わった。TOBを実施し、現在4.5%の保有比率の大幅な引き上げを目指す。ユニゾHDは

気迷い相場

先週の東京株式市場は反落となりました。NYダウは初の2万7000ドル乗せと最高値を更新していますが、本邦市場は売買代金2兆円割れが続いており、上値の重たい展開が続いています。2万1725円に走る52週線、一目均衡表・週足雲上限(2万1713円)や月足・基準線(同2万1713円)など2万1700円台前半にテクニカルポイントが収束しており、大きな壁となっています。

転ばぬ先のテクニカル

TOPIXのMACDがデッドクロスし、日経平均のそれもデッドクロス寸前です。一方で、先週は20日線と60日線が2万1415円近辺でゴールデンクロスしました。テクニカル指標がマチマチなことが今の相場の気迷いを示していますが、2万1400円を割り込まない限り強気対処で、割り込んだ場合は撤退して売りポジションを作ればよいと考えております。 日々勇太郎



任天堂スイッチライト

ローラを一体化することで小型化、持ち運

11日、任天堂(7974)が急反発、年初来高値を更新した。5.5型液晶搭載の携帯用ゲーム機「Nintendo Switch Lite」を発表したことを材料視。本体とコント

ホテルを運営しており、HISはホテル事業の規模拡大を狙うという。

に特化しており、税別店頭予想で1万9800円と低価格なことから、ニンテンドー3DSからの買い替え需要が期待された。電子部品サプライヤーのシライ電子工業(6658)も受注期待で買われた。

チェンジは稀薄化

11日、Monotaro(3064)

ファーストリテイテ最高値

週末12日、ファーストリテイテリング(9983)が最高値を更新。19年8月期の第3四半期累計の連結決算は、売上収益1兆8228億7700万円(前年同期比7.0%増)、営業利益2472億1100万円(同4.1%増)と増収増益

が急落。大阪府高槻市の倉庫での爆発事故で2人が死亡、2人が重体となった火災について警察が現場にスプレー缶を持ち込んだ同社本社などを家宅捜索した。問題のスプレー缶は去年の台風で水に浸かったおおよそ3000本とし、同社から持ち込まれ、「当時、4人は金づちで缶に穴を開けてガスを抜いていた」という内容が伝えられている。

バンナム日経平均採用

11日、バンダイナムコホールディングス(7832)がストップ高。日本経済新聞社が日経平均採用銘柄の臨時入れ替えに伴い同社株を新規採用すると発表したこととで、日経平均型インデックスファンドなどの組み入れ需要が期待された。一方、採用が見送られたDMG森精機(6141)は急落。

となった。海外の3カ月間では売上収益は前年同期比15.3%増、営業利益は同14.9%増と好調で、中国の大幅な増収増益が継続した。

安川電機5%営業減益

12日、安川電機(6506)が反落。20年2月期の第1

四半期決算は、連結売上高1074億4300万円(前年同期比16.2%減)、営業利益71億8600万円(同58.2%減)と大幅な減益となった。半導体市場全般の投資先送りに加え、米中貿易摩擦の影響拡大などによりグローバルで設備投資に慎重な姿勢がみられるなど、厳しい状況となった。

今週の動意銘柄

建設的対話を実体験

兵庫大生29名を株主総会に招待

ハリマ化成
グループ

ハリマ化成
グループ（4

410）は今年の定時株主総会に兵庫大生29名をオブザーバーとして招待した。同学科では「カンパニープロジェクト」として模範会社12社を設立、学生たちが経営者となり、大学祭などでの事業運営と報告、総会や配当も実施しており、大学側の要請



会場を見学する兵庫大の学生たち

義川吉弘社長が総会について講話。歴史と最近の傾向など事前の講話を受け総会に臨席した。経済変動に耐えうる事業運営と安定した配当など株主還元の方針、人材教育や福利厚生生の充実、脱プラスチックな環境に配慮した素材開発の方向など「質問一つひとつへの丁寧な説明に驚いた」という感想や「単位株を購入し株主として参加してみたい」などの声も上がり、大学側は「株主と企業の建設的な対話を学ぶ貴重な体験になった」という。同社は次回以降も継続実施の方針で「開かれた株主総会として、広く認知されるよう取り組んでいく」としている。

主総会を体験してもらった。総会への学生の参加は1部上場企業のなかでも珍しい試みだが、同社は株主との対話の場として株主総会の充実に取り組んでおり、地域貢献の一環として兵庫大のカリキュラムへの協力を決めた。学生たちは総会開催前に会場を見学、準備する社員と交流した後、長

に
て、
実
際
の
株

購読会員募集中！

証券市場新聞では、購読会員を募集しています。

高野恭壽の
株式情報 **これでどや!!**

大阪で600人越えの集客を記録、アンケート調査で「是非聞きたい講師」全国第1位
人気株式評論家 高野恭壽の株式マガジン！

<https://marketpress.jp/kabu-takano/>

証券市場新聞 公式メールマガジン

優良銘柄に加えて新興銘柄のタイムリーな限定情報が満載！

<https://www.mag2.com/m/0001678061.html>

秋の新製品「3品」で攻勢

銘柄探究



記者の目で企業実態を解析



新商品の説明をする

稲野達郎社長

「ガッツリ系」と呼ばれる分野での同社初

たことなどにより需要が高まったことも追い風となり売上高は上方修正となったが、海苔の収穫地である有明海が高温になったことで記録的な不作になり、原料仕入れ価格が大幅に高騰、利益面では下方修正を余儀なくされた。稲野達郎社長は「原料

初のガッツリ系「誘惑のふりかけ」

「誘惑のふりかけ」と「誘惑のふりかけ牛ブタ」の計3製品だ。

明海産一番摘み原料のみを使用した「ぱりうま」シリーズに味付のり4束（税抜き210円）と味付おかずのり5袋（同350円）、焼おかずのり5袋（同350円）も追加発売、購入し易い量と価格にすることで海苔本来の美味しさを消費者にアピールしていく。



2019年秋の新商品

8月からは「緑黄野菜ふりかけ」と「小魚ふりかけ」のTVCMを「誘惑のふりかけ」のテロップ入りで首都圏で放送、販売強化にも取り組む。

大森屋（2917）は加工のり製品での唯一の上場企業として高いブランド力を誇る。原料海苔が記録的な不作となる中でも高品質の商品を販売、斬新な新商品も投入しており、逆風が吹く中でも攻めの経営により更なる飛躍が期待される。

大森屋 (2917)

85億円（前期比4.0%増）へ、営業利益で4億9500万円から3億4500万円（同23.1%減）へ修正した。海苔の健康効果がテレビ番組で放送され

00万円から100万円から1999年9月期の通期予想について、5月14日付で売上高を従来予想の181億5000万円から181億5000万円へ、

「ごぼうと根菜ふりかけ」の計3製品として8月19日から全国発売するのが「誘惑のふりかけ海老イカ」と「誘惑のふりかけ牛ブタ」の2製品と緑黄野菜ふりかけシリーズ第3弾の「ごぼうと根菜ふりかけ」

「ごぼうと根菜ふりかけ」は、ごぼう、にんじん、レンコン、安納芋の4種類の根菜を配合、大手量販店を通じて一部地域で先行発売していたが、好評を得ていることから全国販売となる。女性に不足しがちな栄養素である鉄分を配合、モニター調査では、ターゲットである年代の男女約90%が品質に満足しており、女子中高生の母親など健康と美容意識が高い女性にアピールしていく。

「ごぼうと根菜で女性開拓」

の製品。コクのある濃厚な味は、それだけでごはんが進む、虜になる味に仕上げている。一方、「ごぼうと根菜ふりかけ」は、ごぼう、にんじん、レンコン、安納芋の4種類の根菜を配合、大手量販店を通じて一部地域で先行発売していたが、好評を得ていることから全国販売となる。女性に不足しがちな栄養素である鉄分を配合、モニター調査では、ターゲットである年代の男女約90%が品質に満足しており、女子中高生の母親など健康と美容意識が高い女性にアピールしていく。

チャートから読む 騰落銘柄

日本ファルコム(3723)



6月24日安値1315円を底に上昇基調継続、7月3日ザラ場に付けた1520円を抜ければ、5月16日の年初来高値1675円を目指す動きへ。9月発売のイースIXやスマホゲームなど新タイトルに期待。

システム情報(3677)



10日は今9月期上方修正も利食い先行で始まるも押し目買いに切り返し、長い下ヒゲ陽線を引く。好業績に加え、信用倍率1.24倍、貸借倍率0.21倍の好取組も株価を押し上げ、青空相場を一段高へ。

アダストリア(2685)



6月既存店の不振が嫌気され6月下旬以降、下落基調が続く。天候不順などから7月も不安継続で、月次の回復感がでなければ、2000円割れから2月5日の年初来安値1800円を意識する場面もありそう。

かんぽ生命(7181)



2000円を中心にした保ち合いを下入れ、上場来安値を更新。新旧契約保険料二重払い問題への行政処分と収益への影響が懸念され、見切り売りに一段安も。信用買い残の整理が進まず需給も重荷。

潮流

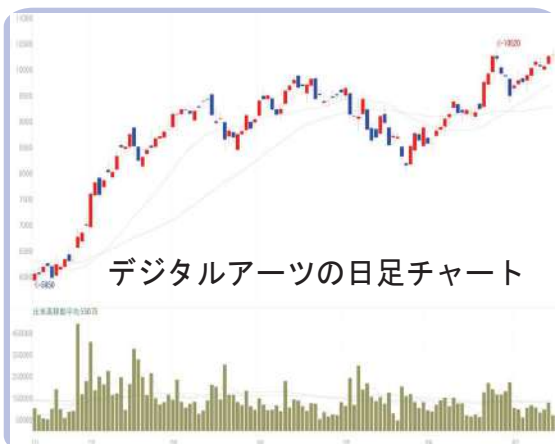
日本株に魅力的投資機会

裁定買い残は例外的最小値接近



7月10日の米ダウ工業株30種平均は、一時2万6983ドルを付けて過去最高値を更新した。機関投資家が重視するS&P500種指数も史上初めて3000ポイントを突破した。ハイテク株中心のナスダック総合株価指数も過去最高値を更新した。テクニカル的に米ダウ平均は6月安値（2万4680ドル）以来の上昇トレンドにあるとみられる。今後、2020年にかけて3万ドルを目指すことになるだろう。

日経平均はというと11日現在2万1643円で昨年の年初来高値である2万4448円まで2800円もある。ただ、現在の日本株の水準は歴史的な割安水準であることには間違いなさそうだ。6月第3週の裁定買い残は3963億円まで減少した。4000億円を下回るのは2016年9月以来で、その規模は過去最小に近い。過去最小は2009年2月第3週の2538億円。それはリーマン・ショック後の暴落相場の最終局面で記録した例外的な極小値だ。6月第3週の裁定買い残比率（裁定買い残÷東証1部時価総額）は0.07%となり、データ取得可能な1991年4月以降で最小値である。このように裁定買い残は枯渇しており、ここから



すると、指数が裁定解消売りで下がるダウンサイドリスクはほとんどない

考えていい。むしろ後は裁定買いが指数を押し上げる、アップサイドリスクが高いと思われる。日本株に魅力的な投資機会が訪れているのだ。

また、裁定買い残は海外投資家の売買姿勢を反映している。つまり、海外投資家が日本株買いに積極的（消極的）になると、裁定買い残は増加（減少）する傾向がある。現在の裁定買い残の枯渇は、海外投資家による日本株への関心が極端に低下していることを映している。さらに、国内の投資家による現在の国内株式の組み入れ比率を示す指数（現在のウエート）は39.7と、2009年3月以来の低水準だ。世界的な金融危機が起これないならば、リーマン・ショック級の低さとなる現在の水準は異常値だ。センチメントから導かれる結論は「10年に一度の買い場到来」といえる。7月第1週に海外投資家は日経平均先物とTOPIX先物を計1618億円買い越した。現物も入れると2067億円の買い越しとなった。外人の買いは日本株上昇のシグナルだ。

潮流銘柄はデジタルアーツ（2326）、エムティーアイ（9438）、JIG-SAW（3914）。



岡山 憲史氏（株式会
社マーケットバンク代
表取締役）のプロフイ
ール

1999年2月日本初の資産運用コンテスト「第一回S1グランプリ」にて約1万人の参加者の中から優勝。直近では2017年1月に始まった夕刊フジ主催の「株・1グランプリ」において優勝。1カ月間における3銘柄の合計パフォーマンスでは15.5%と断トツの結果。週刊現代、週刊ポスト、夕刊フジ、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行う。現在、個人投資家に投資情報サービスを行う。http://marketbank.jp

外人買いは上昇シグナル

徐々に盛り上がる展開

高野恭壽の株式情報 これでどや!!

株式市場新聞の名物コーナーが復活!



高野恭壽(たかのやすひさ)氏 1949年生まれ、大阪府出身。株式市場新聞大阪支社長、株式新聞社大阪本社代表を経て株式評論家として独立。講演会のほか、ラジオ大阪「タカさんの新鮮・株情報」をはじめTV、ラジオに多数出演。「株式投資30カ条」など著書も執筆。

7月に入って日経平均は2万1500円を中心にほぼ揉み合う状態が続いていましたが、10日に行われたパウエルFRB

議長の前で議事録を公表し、言及する内容を確認したことでニューヨーク市場が最も高値を更新、これが波及する形で東京市場も底堅い動きとなりました。市場全般に薄商いが続いているが、先物では海外投資家が買い越しに転じており、3連休明け以降は徐々に盛り上がりを見せていくと見えています。セクター別では揉み合う過程で低迷が

ACSLは巻き返しへ

ています。任天堂がスイッチの小型タイプを発表したことで上放れて急伸。それにつれてディスプレイなどの値ガサも上げて全般相場をけん引しています。その反対にそれまで堅調さを保っていたグループは見送られてしまいましたが、大きく下落するに至らず小幅程度で収まっています。続伸している百貨店も引き続き上値指向が続くなど強さが維持されており、材料系の大紀アルミも堅調さをみせています。この流れは週明けも続くのではないかと思われています。化学株の下落が続いていますが、三菱ケミカルホールディングス(4118)や東ソー(4042)などは主力を筆頭に戻りが期待できる動になったとみています。非鉄系も同様の動きをみせており、三菱マテリアル(5711)や住友金属鉱山(5713)も出直りを予想しています。一貫推奨の大塚ホールディングス(4578)は、3900円までの戻り売り圧力が強く、3800円台でのみあいが続いています。しかし、後数日で

続いてきた半導体、電子部品、素材、金融、小売りなどが11日に一斉に反発をみせ



ACSLの日足チャート

消化が完了するものと思われません。ここは我慢のしどころです。一時的に下落する場面があれば拾う覚悟でいいでしょう。低迷状態が続く4000円割れまで売られていたACSL(自律制御システム研究所・6232)が底入れし、11日によりやく反発しました。一時的に下振れがあれば底は拾う作戦が有効です。テックファーム(3625)も反発し、再度上値を窺う動きとなりそうです。これに加えて今回の狙いは太陽誘電(6976)、富士通ゼネラル(6755)、双日(2768)です。

高野恭壽公式ホームページ
高野恭壽の株式情報(れどや)!!
<https://marketpress.jp/kabu-takano/>
毎日情報を配信中!

星野三太郎の株街往来

～時代の変化について行けないメディア～

度が劇的に進化し、スマホやタブレットの端末自体の性能も向上している。どこでも瞬時に世界の情報が取得できる時代に紙媒体が生き残るには、その媒体でしか知り得ない質の高い情報を提供する必要があるが、10年前と比べてネット上で流れる情報の質も向上している。

今になったら廃刊を決断して、ネット媒体にシフトしたことは正解だったことになるかも知れない。しかし、5Gの時代になれば、TV局でさえもネット配信が常識になり、民放もキー局と地方局の存在が危うくなり、様々な面でメディアの形態が変化するのだと思う。

筆者自身も偉そうに言える立場にはないが、時代の最先端を伝える立場の人間が、時代の変化について行けず、生き残る手段を見出せなくなる危機感が更に高まることになりそうだ。



今年に入

ってから筆者の知り合いで株式専門誌や経済誌で数媒体ほど廃刊になった。販売部数が減少するなかで印刷代や編集人員などのコスト増が重石になっていた。筆者は10年前に株式専門誌で廃刊を経験したが、当時に比べて現在はモバイル通信の速

企業レター

バナナマンがサプライズ登場!

「ペット2」公開記念イベントを開催

USJ

ユニバーサル・スタジオ・ジャパン(USJ)は、ユニバーサル・ピク

チャーズ作品史上NO.1初日興収を叩き出した映画「ペット」の続編、



ミニオン・クール・ファッシュンショー』に特別参加!!



バナナマン”とミニオン、SINGのメンバーが勢揃い

のイルミネーション・ショーに、前作「ペット」で人気爆発、今作でも大

「ペット2」の日本公開(7月26日)を記念し、「ペット2」公開記念イベントを開催した。ハリウッド・エリア

活躍のウサギの「キャプテンズノーボール」が登場。会場の特別招待ゲストから歓声があがるなか、スーパヒーローになりきったキャプテンズノーボールは「飼い主が留守の間に、秘密のサマーパーティーを始めるぞ!」とイルミネーション・シアターをパーティ会場に変えることを宣言、パーティーを盛り上げるために、サプライズで、バナナマンの二人を招き入れた。前作に引き続き、「ペット2」でも主人公「マックス」(テリア)と、その相棒「デューク」(雑種犬)の声優を務めたバナナマンの設楽統さん、日村勇紀さんの突然の登場に会場は大興奮となり、二人は映画の魅力や、日本語吹替え版出演時のエピソードについて語った。

その後、ミニオンたちがハチャメチャな真夏のファッシュンショーを開催する今夏の新ショー「ミニオン・クール・ファッシュンショー」に、サプライズゲストとしてキャプテンズノーボールとバナナマンの二人が登場した。

敏腕先物トレーダー

ハチロクの裏話

の決算が示すように米中貿易摩擦で第1四半期の決算が悪い企業の散見してくる為、

動き乏しいが下値堅い

カラ売りの増加が戻りのカギ

先週の日経平均は週の値幅が約240円程度と動かない展開であった。7月のSQ値は2万1742円で7月17日と高値で決まったが、売り方の買戻しが最後に入った感じがする。先週は月末のFOMCを巡る思惑で為替が一時106円台まで上昇したが、為替に連動するアルゴリズムは外していると見られ、円高にもそしてその後の円安にも日経平均は反応が薄かった。

しかし、2万1500円台を割ってくるという買いが入り、相場であった。7月の第1週は海外投資家が9週間ぶりに買い越しに転じており、需給的にも改善が見え始めてきた。しかし、安川電機

先週の日経平均は週の値幅が約240円程度と動かない展開であった。7月のSQ値は2万1742円で7月17日と高値で決まったが、売り方の買戻しが最後に入った感じがする。先週は月末のFOMCを巡る思惑で為替が一時106円台まで上昇したが、為替に連動するアルゴリズムは外していると見られ、円高にもそしてその後の円安にも日経平均は反応が薄かった。

しかし、2万1500円台を割ってくるという買いが入り、相場であった。7月の第1週は海外投資家が9週間ぶりに買い越しに転じており、需給的にも改善が見え始めてきた。しかし、安川電機

の決算が示すように米中貿易摩擦で第1四半期の決算が悪い企業の散見してくる為、

当面のスケジュール

- ・ 12日 米6月生産者物価(21:30)
- ・ 15日 中国6月都市部固定資産投資、中国6月工業生産、中国6月小売売上高、中国6月4-6月期GDP(11:00)
- ・ 16日 株式等の受渡日が1営業日早まる。現行の3営業日後の決済が2営業日後に
米6月小売売上高(21:30)
米6月鉱工業生産・設備稼働率(22:15)
- ・ 17日 6月訪日外客数
G7財務大臣・中央銀行総裁会議(~18日フランス)
米6月住宅着工件数(21:30)
- ・ 18日 6月貿易統計(8:50)
6月首都圏新規マンション発売(13:00)
米6月CB景気先行総合指数(23:00)
- ・ 19日 6月消費者物価(8:30)
5月全産業活動指数(13:30)

日経225先物日足チャート



編集後記

対韓国輸出規制が議論を呼んだ。対象はフッ化ポリイミドなど半導体材料で、9割以上を日本からの輸入に頼る韓国には大きな打撃だ。これまでの経緯を考えると、政府としてもやむを得ない措置だったと思う。文大統領は自由貿易の原則に反するとして、WTO提訴も辞さない構えだが、韓国向け輸出を特別に優遇して簡略化していた手続きを普通の手続きに戻すだけで、規制には当たらないという。南北融和など理想を掲げる文政権だが、感情に訴えるだけで現実には目を背け、国民の利益を害している。

【ご注意】証券市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測的的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被らねたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。